

株式会社くふうカンパニー
2021年9月期 第2四半期決算説明会 質疑応答の要約

2021年5月14日

2021年5月14日に開催いたしました2021年9月期 第2四半期決算説明会（オンライン開催）における質疑応答の要約を掲載します。

当社出席者：代表取締役 堀口 育代、代表取締役 新野 将司、
取締役CFO 菅間 淳、取締役会長 穂田 誉輝

・質問

ロコガイド社との統合に関して、生活領域には多様なプレーヤーがありますが、統合会社のポジショニング、提供価値の独自性について、どのように考えたらいいか教えて下さい。また、ロコガイド社との統合で大きなシナジーの発現が期待できる部分について、Zaimとトクバイの連携以外について教えて下さい。

>回答：堀口

生活領域において、両社で多数のユーザーを抱えていることを強みに、コンテンツのさらなる充実を図ってまいります。トクバイの買い物情報という、地域に密着且つリアルタイムの情報が加わることで、他社には模倣できない、ユーザーの行動につながる機能も含めたサービスも展開できるようになると考えています。

また、ロコガイド社との統合により、結婚や不動産領域においても、地域密着型のサービスを提供してまいります。生活領域においても、両社がまだ取り組めていない様々な新しいサービスに、スピード感をもって取り組んでいきたいと思っております。

>回答：穂田

統合後に最も取り組みたいと考えているのは、ユーザー向けの会員ビジネスです。月額固定でユーザーからお金をいただくには、既に世にあるサービスとは異なる、新しいサービスを創り出すことが必要です。

ユーザーファーストの徹底によりユーザー満足度を向上し、ユーザー接点を増やして利用頻度を高め、ユーザーが毎日利用しお得に感じられるようなサービスを提供していくことで、5～10年で有料会員を大きく増やしていきたいです。

電気・ガス・水道、あるいは携帯やスマートフォンといった、生活に欠かせないインフラのようなサービスを提供していきたいと考えています。そのためにも、様々なサービスと人材を抱え、多様な事業を展開することによって、総合的にユーザー満足度をあげていきたいと思っております。

ユーザー満足度の向上とユーザー数の増加によって企業価値が増大することが、最もシンプルで強い企業体につながると考えており、様々なサービスを結合して、他にないサービスを世に出していきたいと思っております。

以上